

## No. 2336 伊吹山

2012年10月14日（日）晴れのち曇り 弱風

参加者：岡本（L）、佐々木裕、赤井、鎌田（記）

爽やかな風が心地良い秋空の下、カクテルに入会して初めての山行が始まった。記念すべき山は百名山の一つ滋賀県の伊吹山、これまた初めて登る山であり、どんな山か楽しみだ。

JR近江長岡駅前9：30に待ち合わせしている、私と赤井さんは一本早い電車で岡本さんと佐々木さんは丁度良い電車で来られ、初対面のお二人に挨拶を済ませバスに乗って登山口へ向かった。

伊吹登山口バス停を降りて三之宮神社で身支度を整えて10時に歩き始める。一合目までは樹林帯を登る、風も吹かないが日差しも遮られているので暑さも適度で心地良い。

一合目の旅館から続々と湧き出る子供達は手にゴミ袋や火はさみを持ち登山道をゴミ拾いしながら歩いている、清掃登山か！感心すると共にゴミを捨てる人のマナーに閉口した。私も自分のゴミを持ち帰るだけではなく、これからは小さい袋にゴミを拾って登山しようかなと子供達に感化された。子供達に巻き込まれペースがガクッと落ちたので岡本さんは「この集団を抜けてしまおう。」と一言残して巧みに子供達を避けて登る、あっという間に離されてしまった。私もペースをあげようとしたが子供の行動が予測不能で中々抜けないし、ゲレンデ跡の登山道は日差しが強くて汗も激しく噴き出る。それでも何とか集団を離れたが乱れたペースで疲れ小休憩したいところだが止まれば再び巻き込まれるので頑張って登り続けることにした。

三合目が近づくと伊吹山の山頂付近や琵琶湖が見えるようになり山腹には米粒程の登山者が山頂を目指し頑張っているのが伺える。三合目のトイレで最初の休憩をとる。子供達に抜かれるか心配したが子供達は三合目手前の広場に集まり出したので杞憂に終わったが、その代わりに快晴の秋空が曇り始めた。

三合目から山頂が見えているので歩いても山頂が近づいている気がしなかったが花の伊吹山で知られるようにススキの群生や野菊の群生等が疲れた身体と精神に活力を与えてくれた。

真新しい避難小屋を過ぎ六合目の看板の所で昼飯タイムとなった。琵琶湖を眺めながら、おにぎりを食べる。まだ登りがあるので全て食べてしまったら・・・と思ったが全て完食していた。

八合目からの急傾斜で登山者が停滞していたが岡本さんは、するりとかわし前へと突き進む。私も頑張って追いつこうとするが思うように脚が動かない。

稜線まで登り、なだらかな道を歩けば山頂に到着する。山頂は信仰の山らしく寺や祠や日本武尊の像等と数軒の売店が建っていた。広い山頂は多くの登山客が居ても埋まることなくのんびりと山頂からの景色を堪能した。

山頂で暫く休憩した後には広場の片隅にひっそりと建つ一等三角点へ向かい、13：30に下山を始める、ここでも岡本さんが走ってるかのように速い！下山している他の登山者から「あの人凄い！」と話しているのを小耳にはさみ私も同意見だと思った。岡本さんも佐々木さんも健脚やなあ、お二人だけで伊吹山に登っていたらどんなペースになるのだろう？いずれ私も同じように登れるかな。六合目までの滑り易い斜面もなんのその一気に三合目のトイレまで降りた。

15:36発のバスに間に合いそうだからと、コーヒータイムはやめてトイレ休憩のみで下山し見事にバスに間に合うような時間で下山した。行きのバスで17:30発のバスに乗れるかどうか不安と言っていた岡本さんなのに5時間程で往復するなんて・・・いやはや参りました。帰りは長浜駅へ向かいビールやウイスキーを思い思い購入し電車内でプチ宴会をしながら大阪駅まで帰り解散となった。リーダーの岡本さん、佐々木さん、赤井さん、お疲れさまでした。

行程 近江長岡駅バス停 9:45—9:56 伊吹登山口バス停 10:02—11:05 三合目（トイレ休憩） 11:10—11:50 六合目（昼飯休憩） 12:15—12:57 山頂（1377m） 13:30—14:25 三合目（トイレ休憩） 14:32—15:23 伊吹登山口バス停 15:36—16:05 長浜駅バス停

J R大阪駅～J R近江長岡駅	2210円
近江長岡駅バス停～伊吹登山口バス停	350円
伊吹登山口バス停～J R長浜駅	700円
J R長浜駅～J R大阪駅	1890円